

森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス at 麻布台ヒルズ

2024年6月26日(水) 実施
JGA 第一支部研修 終了レポート



2018年から2022年にお台場にオープン、圧倒的な人気を誇り、今年2月に麻布台ヒルズに待望の移転オープンとなったチームラボボーダレス。訪日客の注目度ナンバーワンで完売が続く人気スポットの研修に、57名(正会員55名、委員2名)が参加しました。

日本国内5か所、また世界各地にもさまざまなコンセプトの常設ミュージアムがあり、大人気のチームラボ。今回は、麻布台のチームラボボーダレスならではの魅力とその魅力を味わうための楽しみ方を中心に解説いただきました。



「部屋から出て移動し、他の作品と関係し影響を受け合いながら、境界なく連続する1つの世界を作る作品群」(ホームページより引用)。この意味を作品の中で具体的に紹介していただくうち、参加者も子供のようにカラスを追いかけて(タッチすると何が起きるでしょう?)、壁に咲くお花に触れ(数秒待つ心の余裕を)、空間ごとに変化していく香りを感じ、作品を探して迷子にもなりました。目の前で動物や花が生まれたり消えたりしていきます。それには鑑賞者の行動が関わっていたり、ある作品は世界各地のチームラボミュージアムともつながっているのです。世界のどこかで誰かが描いた魚が目の前に現れたり。

公式ホームページでも作品について紹介されていますが、作品を前にしたその場で楽しみ方のヒントを教えてください。それがいかに大切か、ガイドの役割を実感することもできました。(アプリの事前ダウンロードも忘れずに!)

関東近郊だけでなく遠方からの参加者もありました。近い日程でご案内するので参加された方、話題のスポットでお客様によく質問されるので様子を見に来た方もいました。何度も来たことがあるという方々からは、新たな発見があったとの感想や楽しみ方を伝えるヒントになったという声をいただきました。

参加者から「楽しかった!」「ワクワクした!」という声が多く聞かれた研修会となりました。

プロジェクションマッピングやデジタル技術を使ったデジタルアートが身近になりつつありますがチームラボボーダレスならではの魅力と楽しみ方をお客様に伝えて欲しいという作り手側の想いがあり実現した研修です。今後のガイディングに活かせるヒントとなれば幸いです。

今回は会員限定の特別企画として実施しました。詳しい研修報告はトラベルコンパニオン誌に掲載します。お楽しみに!
(担当 伊藤淳子 高取和代)



森ビル デジタルアートミュージアム:エプソン チームラボボーダレス

公式 HP :<https://borderless.teamlab.art/jp/>

オープン日 :2024年2月9日(金)- 常設

休館日 :不定休 ※HP 参照

住所 :麻布台ヒルズ ガーデンプラザ B B1(東京都港区麻布台 1-2-4)

アクセス :日比谷線 神谷町駅 5 番出口直結 徒歩 2 分